

傾聴ボランティア通信



長野県傾聴ボランティア連絡協議会

代表者会議のご案内

日時 2023, 8, 23(水) PM 1:00~3:00

会場 塩尻総合文化センター

グループ代表者の方、個人会員の方にはご案内文を郵送しました。代表者以外の方の参加も大歓迎です。多くの方の参加をお待ちしています。参加申し込みは7月末日まで。

第11回総会報告

2023年5月19日(金) 松本駅前会館

出席グループ 13
出席者数 64人 (講演会参加者 60人)

議長 傾聴みみずく 浜 賢一 様



ご来賓

長野県健康福祉部 介護支援課介護人材係

係長

永田 浩靖 様

主事

高地 有紀 様

長野県社会福祉協議会

主任

元持 幸子 様

コロナ禍の困難中ではあるが 傾聴が大切な時期であると、温かい励ましのお言葉をいただきました。

1号議案~5号議案を審議・承認していただきました。

〔質疑応答〕

- 協議会役員の交通費等についてはどのようになっているのか。県などからの補助を要請することはできるのか
- 県、県社協などからの補助は、多くの他のボランティアグループも存在することであり要請することは困難。過去に、交通費としての寄付金をいただいたことはある。今後の課題として考える。

2023年度役員

代表	長谷川 昭 (ブロック長から互選)
北信ブロック	猿渡 さち子 (千曲会)
東信ブロック	三宅 秀明 (ラポール)
中信ブロック	長谷川 昭 (傾聴木曾)
南信ブロック	木戸 亮 (傾聴みみずく)

研修部	三宅 秀明 木戸 亮 大渡 敏恵 弓削 淑子
-----	---------------------------------



傾聴ボランティア講座案内

研修部では「傾聴ボランティア講座案内」を議案書と共に配布しました。基礎講座、おさらい講座などについて内容・費用・スケジュールなど記載しています。ご入用の方は研修部までご連絡ください。傾聴活動を再開するにあたって参考になる内容になっています。

じゅうご
ようし

会計	大渡 敏恵 (傾聴虹の会)
書記	ブロック長 兼任(輪番)
広報	弓削 淑子 (傾聴のぞみ)
監査	武田 正子 (傾聴辰野)

長野県傾聴ボランティア連絡協議会
代表 長谷川 昭

TEL FAX 0264-48-2133

携帯 09043981187

mail mr.kaeru77@ot.kiso.ne.jp

〒397-0201 木曾郡王滝村 4100-13

広報担当 弓削淑子

TEL FAX 0266-74-1122

mail yugetora@po30.lcv.ne.jp

〒391-0115 諏訪郡原村原山17217-2199

講演会

講師 木川 充浩 氏

JA長野厚生連 富士見高原医療福祉センター
特別養護老人ホーム きりとう 施設長

高齢者施設における傾聴ボランティア活動 ～心優しい隣人としての傾聴ボランティア～

講師の木川氏は、ご自身が福祉の道に入られた経緯、施設長として勤務されている特別養護老人ホームでの生活を、数々のエピソードを交えて明るくかつ心にしみのお話をしてくださいました。

長引くコロナ禍で、施設内に感染者が出た場合のスタッフの方の苦勞と苦惱なども、報道ではわからないことが多々ありました。

「私たちがお話をする高齢の方はいつ身体状況が悪化するかわからない。私の言葉は、この高齢の方がこの世で最後に聞く言葉になるかもしれないという思いで接している。」とのこと。私たち傾聴する者はしっかり心に刻みたい講演でした。



講演の最後の言葉

想像してみてください

素敵な恋愛をしていた時代があったことを

子供たちのために 身を粉にして働いてきた時代があったことを

想像してみてください

家族のために雨の日も雪の日も…汗を流し大地を耕していた

時代があったことを

油まみれになって働いていた時代があったことを

想像してみてください

だんだん…身体が衰えていくつらさを…

少しずつ…物を忘れていく悲しさを…

ひとりひとり…自分から人が離れていく淋しさを…

想像してみてください

年若い私たちの何気ない言葉が 何気ない行動が

この方たちの心に傷をつけていることを

私たちの希望に満ちた明日は…

この方たちの絶望の明日ということ

でも 信じてください…

私たちの一言が 優しい眼差しが そっと手を握ることが

この方たちにとって ささやかな…希望の光であることを

そして…最後にもう一度 想像してみてください

私たちの関わりが…ほんの少しかもしれないけど…

この方たちの「人生の最終章」をかけがえのないものにするのを…



講演後の感想から

- 🍀 ゆっくりと反応を待つことなど、認知症の方への接し方がとても参考になった。
- 🍀 コロナで忘れかけていた施設の実態や、利用者さんの様子が改めてわかった。
- 🍀 「その方が聞く人生最後の言葉になるかもしれない」というお話が心に響いた。傾聴もそのような気持ちを持って接したい。
- 🍀 現場目線でのお話がよくわかった。